

多様なモード・関係者・手法による

持続可能な 地域公共交通の構築

会場（先着150名）&
YouTubeライブ配信

参加無料

要事前申込

持続可能な公共交通を実現するためには、多様な交通モードや技術をどのように導入するのか、幅広い関係者とどのような協力体制を構築していくのかをしっかりと考え、地域の実情に適応した丁寧な仕組み作りが重要です。

本シンポジウムでは、各地の取り組みを紹介しながら、持続可能な公共交通のあり方を考え、今後の活動に活かしていただくことを目的としています。

12/3^水
令和7年
13:30▶17:00

開場 13:00

開催場所

STATION Ai

名古屋市昭和区鶴舞1丁目2番32号

1F
イベントスペース

JR・地下鉄鶴舞線
鶴舞駅から徒歩6分
(裏面の地図を参照)

プログラム

第1部 | 事例紹介 13:30 ~ 16:05

開会挨拶

中部運輸局 局長
中村 広樹

趣旨説明

名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授
松本 幸正 氏

マイカー交通ノックルあさひまちから始まる挑戦 ～一人ひとりが住みたい場所に住み続けるために～

株式会社博報堂 地域共創プラットフォーム事業推進局 局長
畠山 洋平 氏

岐阜県関市における コミュニティバス等の再編に関する取組

関市 基盤整備部 都市計画課 主幹
篠田 賢人 氏

持続可能な地域創造のための移動の課題と 「シェア乗り」の新たな可能性

株式会社NearMe 代表取締役社長
高原 幸一郎 氏



愛媛県松山市における 「おすそわけ交通」に関する取組

ネットトヨタ瀬戸内株式会社 モビリティ事業部 部長
大石 一浩 氏

愛知県日進市における 高齢者移動支援事業に関する取組

日進市 都市産業部 都市計画課 課長補佐
野村 圭一 氏
豊田市青少年相談センター スクールソーシャルワーカー
富岡 亜希子 氏

第2部 | パネルディスカッション

16:15 ~ 17:00

コーディネーター パネリスト
松本 幸正 氏 事例発表登壇者



松本 幸正 氏

名城大学 理工学部 社会基盤デザイン工学科 教授

名城大学理工学部社会基盤デザイン工学科教授。1991年名古屋工業大学大学院工学研究科博士前期課程を修了し、2007年から現職。専門は交通工学・都市計画。主な著書に「成功するコミュニティバス、学芸出版」、「変革社会に対応する新しい都市計画像、中日出版」など。公共交通や都市計画に関する

フィールド調査や理論研究を遂行するとともに、自治体の地域公共交通会議や都市計画審議会の会長を務め、地域における計画策定や課題解決にも貢献。

社会活動

土木学会中部支部 支部長
愛知県公共交通協議会 座長
三重県地域公共交通協議会 副会長
静岡県地域公共交通活性化協議会 座長

パネリスト



畠山 洋平 氏

株式会社博報堂 地域共創プラットフォーム事業推進局 局長

自治体が抱える公共サービスの持続性課題を、「あたらしいものを新たに作る」のではなく、地域のヒト・モノ・コトという資産を活用し「再編集」することで、『一人ひとりが住みたい場所に住み続ける社会の実現』を目指す。富山県朝日町の空き家を購入し、東京都と朝日町の二拠点生活。著書に「これからの地方創生シナリオ」。

職務経歴

2003年 博報堂入社
2012年 博報堂従業員組合委員長
2019年 第五営業局 部長
2022年 第二MDコンサルティング局 局長代理
2025年～ 現職



篠田 賢人 氏

関市 基盤整備部 都市計画課 主幹

事業経過 関市は、平成17年2月に周辺5町村を編入合併して市域が4.6倍に拡大し、美濃市と郡上市の南部をV字型で囲む変則的かつ広大な市域となったため、地域全体の公共交通網の見直しが必要となった。既存の交通体系、地域住民の利用・ニーズ調査、バス運行事業者の輸送力、将来需要を考慮し、適材適所のバス路線に再編した。合併5地域は民間バス路線を全面廃止し、地元住民組織を中心とした地域バス運営組織を立ち上げ、運行本数の増便を実現した。当初の公共交通網の再編から17年が経過、人口減少・担い手不足の影響を受ける中、当市の移動手段を維持するため、継続して公共交通の改善に取り組む。

職務経歴

1993年 関市役所入庁
2007年～2010年 企画政策課に配属 公共交通政策担当
2023年～ 都市計画課に配属



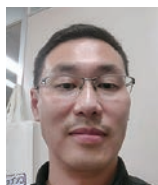
高原 幸一郎 氏

株式会社NearMe 代表取締役社長

シカゴ大学経営大学院卒。2001年にSAPジャパンに新卒入社し、国内外の業務改革プロジェクトに従事。2012年に楽天に入社し、物流事業の立ち上げや日用品EC事業の責任者を務める。その後、米・仏グループ会社の取締役やCEOを歴任。日本の地域資源の活用に関心を持ち、2017年に株式会社NearMeを設立。特に地域課題であるドアツードアの移動問題に取り組み、「住みたいまちに住み続けられる社会」を目指してシェアリングエコノミーのMaaSサービスやAIを活用した移動サービスを展開している。

役職

一般社団法人スタートアップ協会 理事 / 一般社団法人インパクトスタートアップ協会 理事 / 一般社団法人モビリティサービス協会 理事 / 一般社団法人シェアリングエコノミー協会 幹事 / 情報経営イノベーション専門職大学 (IU) 正教授



大石 一浩 氏

ネットトヨタ瀬戸内株式会社 モビリティ事業部 部長

トヨタ自動車と言う「モビリティ・カンパニー」構想を実現するため、全くの未経験ながら愛媛県内の公共交通問題解決に突撃。一生懸命もがいた結果、運良く松山市内にてオンデマンド交通を立ち上げることができ、これを契機に各地に水平展開を始める。現在、松山市内に4地域5台、そのほか愛媛県内3つの市町で類似のサービス提供に参画。合言葉は「ごさげん」「おせっかい」「おすそわけ」。そのプロセスから「おすそわけ交通」と名付ける。

職務経歴

2019年 ネットトヨタ瀬戸内入社 同時にモビリティ事業部立ち上げ
2021年 「チョイスコひさえだ」実装 その後「おすそわけ交通」として水平展開



野村 圭一 氏

日進市 都市産業部 都市計画課 課長補佐

地域福祉課に配属後、地域福祉の推進や高齢者福祉、障害福祉全般の業務を担当。2020年からは愛知県の高齢者移動支援推進モデル事業を活用しながら、+αの付加価値を付けた移動支援モデルの創出を目指す。3年間で市内9つの地区で住民主体の高齢者移動支援の取り組みがスタートしている。「行政等はきっかりづくり」「やる・やらないを決めるのは住民」「やると決めたら全力支援」の3つの心構えで、社協や生活支援コーディネーターと連携しながら移動支援の仕組みづくりに取り組んできた。

職務経歴

2003年 日進市役所入庁
2018年 地域福祉課に配属 高齢者移動支援推進事業に携わる
2025年～ 現職



富岡 亜希子 氏

豊田市青少年相談センター スクールソーシャルワーカー

地域で困っている方を、地域の住民が助け合う仕組みづくりを行うコミュニティソーシャルワーカーとして従事。電球交換やゴミ出し等、ちょっとした困り事を地域の方が手助けする「ワンコインサービス」、誰もが気軽にに行ける居場所「ほっとカフェ」、免許返納後の高齢者等交通弱者のための「地域住民による移動支援」等の仕組みを創出。特に「住民による移動支援」は、利用する側も支援する側も楽しく元気になることを理想とし、地域住民と協働で上げた事業。新規事業立ち上げの際は、住民・企業・自治体が喜べる「三方よし」がモットー。

職務経歴

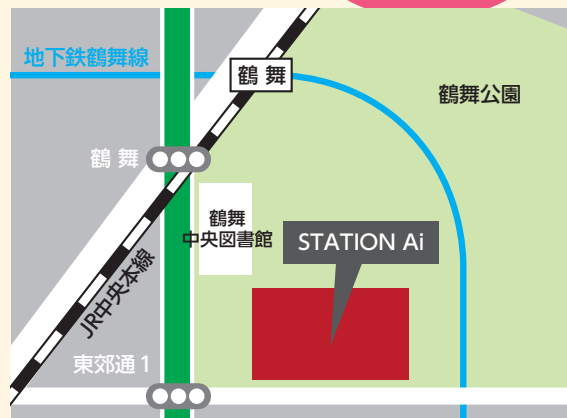
行政計画専門のコンサルタント会社を経て、
2016年 (福) 日進市社会福祉協議会入職
2025年 豊田市役所入庁

会場／オンライン
参加申込みは
こちら！



申込締切り
11月28日(金)

会場アクセス



STATION Ai^{1F} イベントスペース

名古屋市昭和区鶴舞1丁目2番32号
(JR・地下鉄鶴舞線「鶴舞駅」から徒歩6分)